



あけましておめでとうございます

子ども達の元気な声と共に、新しい年がスタートしました。寒さが一段と身に染みるこの季節。「冬」という季節を感じながら、子ども達と一緒に様々な遊びを楽しんでいきたいと思えます。

感染症の流行などから体調を崩しやすくなる時期ですので、手洗い、うがい、消毒などをしながら、元気に楽しい毎日を過ごしていきたいと思えます。

きらきらチェンジ



月刊誌の中に毎月登場する合言葉「きらきらチェンジ」。ひかりちゃんが色々な事を教えてくれますが、12月は友達への思いやりがテーマで、困っている友達を助けてあげる内容でした。子ども達の中にも友達を思いやる気持ちが芽生えてきたようで、友達が落とした物を拾ってあげたり、泣いている友達がいると顔をのぞかせて心配したり、頭を撫でてあげたり、「どうしたの？」と声を掛けてあげる姿も多く見られるようになりました。また、友達の良い所を見つけて「すごいね」「かっこいいね」「かわいいね」と褒め合い、友達との関わりの中で、互いに思いを伝え、様々な遊びを一緒に楽しんでいます。また、月刊誌の最後のページにあるまちがいさがしもお気に入りのひとつです。違うところを教えてくれる際にも、最初は「あれ」「それ」「この、あれが」と指差しで教えてくれていたのが、子どもなりの言葉で考えて具体的に伝えてくれようとしています。

絵本が大好きで、色々な種類の絵本に触れ、自分で考えたり、言葉を真似したり、遊びへ発展させたりしながら友達との関わりも深まっているようです。これからも沢山の絵本に触れながら、豊かな心を育てていけるような保育を心がけていきたいと思えます。



劇あそびに挑戦



クラスでもクリスマス会を楽しもうと子ども達に提案してみると、「やりたい」と言ってくれたので、ひとつは歌と合奏で、タンバリン、すず、カスタネットを使い、ミッキーマウスマーチの曲に合わせて演奏しました。もうひとつは「3びきのこぶた」の劇あそびに挑戦してみることにしました。まずは、小ぶた、中ぶた、大ぶた、オオカミのどの役をやりたいかを聞いて役を決めていきました。そして、音楽に合わせて歌ったり、踊ったりしながら動きを付けていきましたが、最初は恥ずかしかったようで、保育士が踊る姿を見てもほとんどの子は踊ってくれませんでした。少しずつ慣れてくると同じ役の友達同士で「こっちだよ」と並んで待っていたり、踊ってくれるようになりました。また、オオカミに家を吹き飛ばされると、保育士が声を掛けなくても「キャー」と隣の家に逃げていたり、小ぶたは鍋の用意をしようとしたりと楽しむ姿が見られるようになりました。皆でぶたの家づくりも行い、段ボールに絵を描いたりしながらそれぞれの家を完成させて満足そうな様子。子ども達が自分達で考えながら動いたり、家を作ったりしながら、楽しい劇になりました。



おまけエピソード

ある日、給食が豚カツだったので、子ども達に「豚カツは、豚のお肉だよ」と話をしました。「えー」「なんで」と驚く子ども達。かわいそうになって食べられなくなってしまうかと思ったら、「じゃ、皆がオオカミだね」とパクパクと食べていました。沢山食べて、みんなのパワーとなり、子ども達は「豚さん、ありがとう」と、豚に感謝し、ペロリと美味しく食べました。